

地球温暖化対策事業

○増額要因

再生可能エネルギーシステムは、新築・改築のタイミングで導入される事例が多く、ハウスメーカー等による営業の効果が高いと考えています。また、近年の電気代の高騰や能登半島地震等により災害時の対策として検討されるなど、いくつかの要因が影響していると思われます。

○達成目標

現在は、町民の皆様による地球温暖化対策に対する目標設定はございませんが、2050年までに温室効果ガス排出量を実質ゼロにすることを目指し取組みを進めて参ります。

ゼロ・ウェイスト推進事業

○増額要因

令和 6 年 4 月 6 日に電動生ごみ処理機の販売業者により新聞折り込みチラシが配布され、該当機種の補助申請が急激に増加しました。また、生ごみ分別の周知により、自家処理を意識されて購入を希望される方も増えています。

○生ごみの削減目標

「改訂葉山町ごみ処理基本計画」において、生ごみ自家処理容器を毎年 150 基販売することで、燃やすごみに含まれる生ごみ量が約 4 t ずつ減少していくことを見込んでいます。それにより、令和 8 年度の生ごみ量は 1,487 t になると推計しております。

一般事務費

○紙おむつ等対応のための先進地視察予定について

(日程) 令和 6 年 10 月 15 日(火) ~ 25 日(金)のいずれか 3 日間

(目的) 両市町ともに紙おむつ等の拠点回収方式を採用している。また、鹿児島県志布志市においては、日本で唯一となる水平リサイクルの取組みも実施しており、それらを併せて視察するものです。